

証券コード (3851)

## 第 17 期事業報告書

2009.4.1~2010.3.31



株式会社日本一ソフトウェア

# ■株主の皆様へ .....

## ゲームは作品ではなく商品である

いつの頃からか、ゲームのことを作品と呼ぶようになりました。しかし当社グループは常に『商品』としてゲームの開発、販売に携わっています。

『作品』とは、製作者の血の滲むような努力の結果出来上がってきたものとのイメージがあります。確かに関わったスタッフ全員の才能や努力は必要です。

しかし一番重要なことは『商品』を通じて業務に携わっていただいた方々、そして何よりもユーザーの方々に喜んでいただくことだと信じております。

「日本一ソフトウェア」とはスタッフひとりひとりが誰にも負けない能力を持ち続け、努力し続けるという意味で社名をつけました。

その能力を駆使し、努力を積み重ね、統合して、ユーザーはもちろんのこと、流通や出版、そのほか当社グループの『商品』に関わった多くの方々に喜んでいただいて、はじめて『売上』『利益』が意味を成すものだと考えており、スタッフおよび当社グループの繁栄に繋がるものだと考えております。

01	Top Interview	06
02	主なタイトルと業績	07
04	トピックス	08
	当期の取り組み	06
	中長期戦略	07
	決算のポイント	08
	会社概要	13



# Top Interview

**Q** 第17期(2010年3月期)の業績について教えてください。

**A** 創業以来の厳しい業績となり、強い危機感を持っております。不況が原因ではなく、弊社が抱えていた弱点と認識の甘さとが、明確に露呈したものだと認識しております。

**Q** ゲーム業界の動向についてはどのように捉えられていますか。

**A** 遊びの多様化、不況、少子化などの要因により、日本国内の市場が縮小していくのに伴い、海外市場とネット課金ビジネスの競争が、ますます激化すると予想しています。

**Q** 第18期以降の方針はどのように考えられていますか。

**A** 商品の厳選による品質向上、海外市場における販売本数増加、モバイル事業の強化、ワクワク感のあるサービスとPRの実施、二次商品展開の拡充、驚きのあるコラボレーションの実施により業績を回復し、お客様の信頼を必ず取り戻します。

**Q** 今後、特に力を入れていきたい分野がありましたら教えてください。

**A** お客様の声が今まで以上に重要になる時代ですので、あらゆる事業において、お客様の声を直接お聞きできるような施策やイベントを充実させたいと考えております。

**Q** 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

**A** 第17期の業績におきまして大変ご心配をおかけしておりますが、顧客満足度の向上を第一とし業績回復・信頼回復に努めることで、株主の皆様にも安心していただけるものと確信しております。引き続き、厳しいご指導と、温かいご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
**新川 宗平**

01



## ■主なタイトルと業績 ······

### コシシューマ事業-(国内)



#### 『魔界戦記ディスガイア』シリーズ

国内でのシリーズ累計 95 万本、全世界累計 160 万本の売上数を誇る、当社の主力商品です。当事業年度は、シリーズ初のアドベンチャーゲーム『ディスガイインフィニット』(PSP 用ソフト) を DL 配信したほか、前年度末に発売した『魔界戦記ディスガイア 2 Portable』(PSP 用ソフト)、アクションゲーム『ブリニー 2』(PSP 用ソフト) 等 3 タイトルの売上が好調でした。

当期実績  
123,800 本



#### 『流行り神』シリーズ

当社の主力タイトルのひとつである、ホラーアドベンチャーです。これまでにシリーズ累計で 12 万本を売り上げており、当事業年度はシリーズ完結編となる『流行り神 3』(PSP 用ソフト)、移植作となる『流行り神 2DS』(ニンテンドー DS 用ソフト) 等 5 タイトルを発売いたしました。

当期実績  
38,100 本

### コシシューマ事業-(海外)——当社タイトル——

### 他社タイトルローカライズ版

#### Disgaea 2 : Dark Hero Days



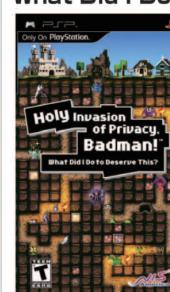
邦題：  
『魔界戦記ディスガイア 2』  
当期実績：36,300 本  
(PSP 版)  
海外累計：164,000 本  
(PSP 版・PS2 版合計)

#### Phantom Brave: We Meet Again



邦題：  
『ファントムブレイブ』  
当期実績：19,300 本  
(Wii 版)  
海外累計：101,000 本  
(Wii 版・PS2 版合計)

#### Holy Invasion of Privacy, Badman! What Did I Do to Deserve This?



邦題：  
『勇者のくせになまいきだ。』  
©2008-2010  
Sony Computer  
Entertainment Inc.  
All rights reserved.



## 『雨格子の館』シリーズ

本格推理アドベンチャーです。  
当事業年度はシリーズ3作目となる『氷の  
墓標 一柳和、3度目の受難』(PSP用ソ  
フト)等3タイトルを発売し、累計販売本  
数が5万9千本  
となりました。

**当期実績  
16,600本**



## 『絶対ヒーロー改造計画』

「ディスガイア」シリーズの開発陣が提供す  
る、PSP用の“4000万回遊べる※01”やり  
こみ型ダンジョンRPGです。

当社の新たな主力商品と  
して、発売後1ヵ月に  
して好調な売上を  
記録しております。

**当期実績  
53,400本**

※01 自称です



## 『クラシックダンジョン～扶翼の魔装陣～』

2Dグラフィックに定評のある当社の技術を  
生かした、2Dアクションロールプレイング  
ゲームです。ランダムに作成されるダンジョ  
ンやキャラクター自作機能などのやりこみ  
要素が好評を  
博しております。

**当期実績  
22,600本**

## モバイル事業

### Deep Diver



配信月：2009年4月  
対応サービス：i-mode

### MISSING PARTS MOBILE 鳴らないオルゴール



配信月：2009年4月  
対応サービス：i-mode

## 今後の展開

### セカンドノベル ～彼女の夏、15分の記憶～



発売予定日：  
2010年7月29日

### BLUE ROSES ～妖精と青い瞳の戦士たち～



発売予定日：  
2010年9月16日

03

※ 当期実績には、ダウンロード配信による販売数を含みます。



## ■トピックス

ゲームに、新聞に、雑誌に！プリニーが大活躍！

### 1本で2度おいしい!? PSP用ソフト「プリニー2」発売！

全世界累計販売本数160万本を超える当社の大ヒットシミュレーションロールプレイングゲーム「魔界戦記ディスガイア」シリーズの人気キャラクター「プリニー」が主人公となったアクションゲームの続編、「プリニー2 ~特攻遊戲! 暁のパンツ大作戦ッ!!~」(PSP用ソフト)が発売されました！

本作ではボリューム満点の隠しゲーム「アサギウォーズ」もプレイ可能となっており、当社ファンのハートをガッチャリ掴みました。

### プリニー、朝日小学生新聞にも出演!?

朝日小学生新聞4月期掲載の交通安全啓発ポスターの案内役として、プリニーが登場！小学生に向けてプリニーが安全な自転車の乗り方を解説。全国の小学校の掲示板で活躍致しました。

5月期ポスターでは、避難訓練のナビゲートをプリニーが担当し、小学生に向けて災害時の注意点を優しく解説しています。



### ブログも連載。ますます広がるプリニー旋風！

月刊ゲーム雑誌「Vジャンプ」に、当社専用情報ページ「N-1グランプリ」が掲載中！新作タイトルの公開をはじめ、ゲームの攻略情報やプリニーブログの掲載など内容は盛り沢山！小中学生に人気の同誌とコラボレーションし、低年齢層への、当社名の認知度向上に貢献致しました。



# ファミ通で殿堂入り!「絶対ヒーロー改造計画」

2010年3月に発売いたしました「絶対ヒーロー改造計画」が、「週刊ファミ通」(2010年3月18日号)の新作ゲームクロスレビューにて「ゴールド殿堂入り」を果たしました!

「魔界戦記ディスガイア」シリーズの開発陣が送り出した本作は、  
入るたびに構成が変化するランダムダンジョン、  
「電撃文庫」とのコラボレーション企画による特別パート  
などなど、当社ならではのやりこみ要素を余すところなく詰め込んだ、  
「4000万回遊べる※01ダンジョンロールプレイングゲーム」の名に  
恥じない内容となっております。  
ゲーム雑誌をはじめとする各方面からの評価も高く、当社の新たな  
人気商品として発売1ヶ月で累計販売本数5万3400本※02を  
突破しております。(2010年3月31日時点)



※01 自称です ※02 当期実績には、ダウンロード配信による販売数を含みます。

## 通販・グッズ事業が好調!

当事業年度は、国内外のイベントへの出展、  
当社オンラインショップでのグッズ販売事業が好調でした。  
攻略本やサウンドトラック等、当社ライセンス商品をマルチユース  
することで、収益性と顧客満足度の向上を両立しております。  
また、2009年7月より、楽天市場に新規開設いたしました当社店舗  
「VIBGYOR JAPAN(ビブジオジャパン)」において、  
木製おもちゃ「ネームトレイン」の販売を開始するなど、  
新たな事業にも積極的に取り組んでおります。



# ■当期の取り組み……………

## ■コンシューマ事業（家庭用ゲームソフトの企画・開発・販売）

当事業におきましては、国内外合わせ全 33 タイトルを発売いたしました。

国内市場におきましては、新作 10 タイトル、移植版 5 タイトル、廉価版 5 タイトル、追加シナリオ 1 タイトルの全 21 タイトルを発売いたしました。PlayStation Portable 向けには、既存タイトルの続編である『流行り神3 警視庁怪異事件ファイル』、『ブリニー2 ~特攻遊戯！暁のパンツ大作戦ッス!!~』等の 3 タイトルを投入することで、既存顧客の満足度向上を図るとともに新たな顧客の獲得を図ってまいりました。また、オリジナル新作タイトルとして『クラシックダンジョン 扶翼の魔装陣』、『絶対ヒーロー改造計画』等の 4 タイトルを発売し、新たな主力タイトルの創出に努めてまいりました。ニンテンドー DS 向けには、『ウィッチテイル 見習い魔女と 7 人の姫』等の 4 タイトルを発売し、幅広いユーザー層へのアピールを行ってまいりました。当社の主力シリーズタイトルである『魔界戦記ディスガイア』シリーズにつきましては、既存タイトルである『魔界戦記ディスガイア3』(PlayStation3 専用ソフト) にゲーム内容を追加できるアpendディスク『魔界戦記ディスガイア3 ラズベリル編はじめました。』を発売し、付加価値の向上を図ってまいりました。また、同シリーズの魅力を更に拡大させるアドベンチャーゲーム『ディスガイア インフィニット』(PlayStation Portable 専用ゲームソフト) をダウンロード配信専用で発売いたしました。

海外市場におきましては、国内で販売された当社ゲームソフトのローカライズ版として、『Phantom Brave: We Meet Again』(邦題:『ファントムブレイブ』)、『Disgaea 2: Dark Hero Days』(邦題:『魔界戦記ディスガイア2』) 等の 6 タイトルを発売いたしました。他社ライセンスゲームソフトにつきましても、『Sakura Wars: So Long, My Love』(邦題:『サクラ大戦V さらば愛しき人よ』) 等の 6 タイトルを発売し、北米・欧州市場向けのローカライズ業務を積極的に展開してまいりました。その結果、当事業全体におきましては、売上高 2,000,987 千円（前年同期比 3.7% 増）、営業損失 39,504 千円（前年同期は 404,904 千円の営業利益）となりました。

## ■モバイル事業（携帯電話コンテンツの開発・配信）

当事業におきましては、既存の総合ゲームサイト「日本一 GAMES」におきまして、引き続き『魔界学園ディスガイア』等のゲームアプリ、着うた等のデジタルコンテンツを配信してまいりました。また、新たな試みとして、アドベンチャーゲーム専用の新サイト「日本一アドベンチャー」を開設し、『Deep Diver』、『MISSING PARTS MOBILE 鳴らないオルゴール』の 2 作の新作ゲームアプリを配信することで、テキストアドベンチャーへの関心が高い当社ファンの囲い込みを図りました。その結果、当事業におきましては、売上高 42,007 千円（前年同期比 40.2% 減）、営業損失 4,811 千円（前年同期は 425 千円の営業利益）となりました。

## ■アミューズメント事業（業務用ゲーム機器の企画・開発及びアミューズメント施設運営）

アミューズメント事業におきましては、アミューズメント施設の運営等を行い、新店舗の出店を行いました。消費低迷等の影響による顧客の減少に苦戦を強いられるなか、地域性のあるイベントの開催や折り込み広告の配布を行うことで集客率の向上に繋げるとともに、業務内容等の効率化を図ることで、収益体質の改善を図ってまいりました。その結果、当事業におきましては、売上高 45,948 千円（前年同期比 8.5% 増）、営業損失 20,303 千円（前年同期比 42.1% 減）となりました。

## ■その他の事業（ゲームソフト関連グッズ販売業務等）

当事業におきましては、国内外にてグッズの制作・販売を行うとともに、コミックマーケットへの出展や新規サイトの開設を行いました。国内におきましては、当社コンシューマ事業で発売を行ったタイトルについて、書籍・CD をはじめとする関連商品の製作・販売を行うとともに、コミックマーケット 76,77 にブースを出展することで、既存顧客の満足度向上に努めました。また、楽天市場にオンラインショップ「VIBGYOR JAPAN (ビブジオジャパン)」を開設し、木製おもちゃを発売することで新規顧客層の開拓を図りました。海外におきましては、オンラインショップの運営を行うとともに、北米最大のゲームコンベンション「ANIME EXPO 2009」へ参加し、当社ライセンス商品をはじめとするローカライズ商品の販売を行いました。その結果、当事業におきましては、売上高 34,195 千円（前年同期比 8.7% 増）、営業利益 17,781 千円（前年同期比 31.2% 増）となりました。



# 中長期戦略

## ■良質なオリジナルコンテンツ制作の展開

当社グループでは、今後もさらに厳しくなると予想される経営環境の中で、競合企業に対する優位性を確保し、持続的な成長を実現すべく、中期経営計画を策定しております。

当社グループ全体としての方針としましては、「良質なオリジナルコンテンツ制作の展開」を掲げております。

良質なコンテンツを作ることにより、ゲーム以外にもアニメ業界、玩具業界等への展開を図ってまいります。

また、日本国内だけでなく欧米やアジア市場等へと積極的な進出を行い、コンテンツ力を最大限に機能させられるような幅広い展開に取り組んでまいります。

### 優良なオリジナルコンテンツを生み出す力

## ■コンテンツ価値を極大化させる3つの戦略

- メディアミックス戦略
- ワールドワイド戦略
- コラボレーション戦略



## ■管理体制の充実展開

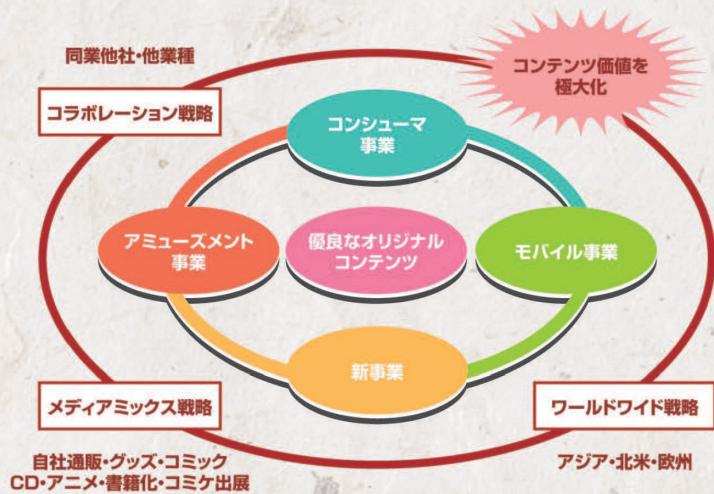
人事体制の構築・牽制機能の体制構築及びコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

## ■営業体制の充実展開

新規顧客の開拓・開発側へのタイムリーなフィードバック体制の構築・コンテンツの有効活用を目指してまいります。

## ■研究開発の充実展開

顧客ニーズに対応できる体制の構築・プロセスに重点を置き、効率的な開発体制の構築を目指してまいります。



自社通販・グッズ・コミック  
CD・アニメ・書籍化・コミケ出展



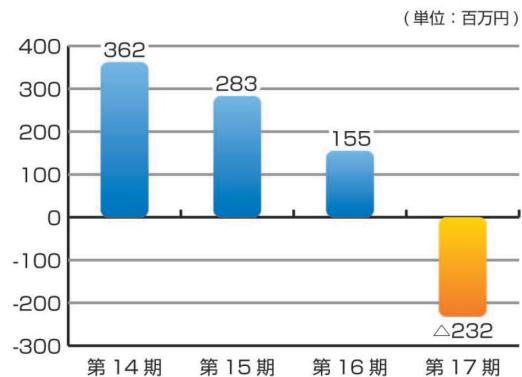
# ■決算のポイント

## ■連結財務ハイライト

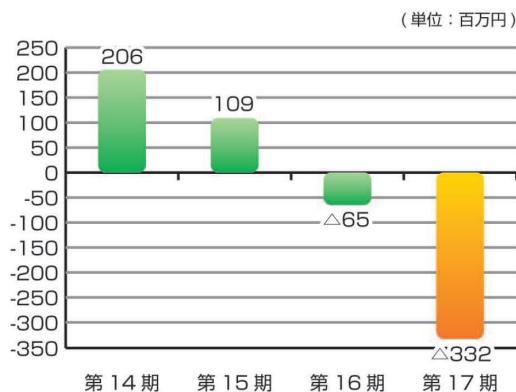
### 売上高



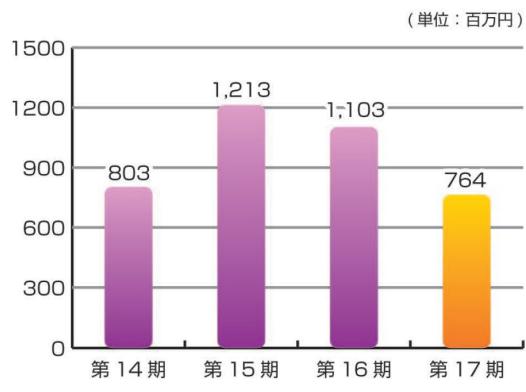
### 経常利益



### 純利益(損益)



### 純資産額



## ■連結財務諸表(要旨)

### ■連結貸借対照表

[ 単位 : 千円 ]

		前連結会計年度 (平成 21 年 3 月 31 日現在)	当連結会計年度 (平成 22 年 3 月 31 日現在)
区分	金額	金額	
(資産の部)			
I 流動資産			
①現金及び預金	552,801	526,092	
②受取手形及び売掛金	404,528	460,304	
③商品及び製品	35,834	28,072	
④仕掛品	366,602	83,568	
⑤繰延税金資産	32,209	42,240	
⑥その他	76,843	24,268	
流動資産合計	1,468,820	1,164,546	
II 固定資産			
有形固定資産			
①建物及び構築物（純額）	412,696	390,246	
②機械装置及び運搬具（純額）	4,973	3,247	
③土地	182,024	172,746	
④その他（純額）	48,420	43,202	
有形固定資産合計	648,114	609,443	
無形固定資産	57,422	44,459	
投資その他の資産			
①投資有価証券	74,852	176,463	
②その他	37,451	43,231	
③貸倒引当金	△ 17,800	△ 17,800	
投資その他の資産合計	94,504	201,894	
固定資産合計	800,041	855,797	
資産合計	2,268,862	2,020,344	

[ 単位 : 千円 ]

		前連結会計年度 (平成 21 年 3 月 31 日現在)	当連結会計年度 (平成 22 年 3 月 31 日現在)
区分	金額	金額	
(負債の部)			
I 流動負債			
①買掛金	91,716	132,180	
②短期借入金	505,000	590,000	
③1年内返済予定の長期借入金	40,008	40,008	
④未払金	71,672	64,639	
⑤未払法人税等	30,661	18,197	
⑥賞与引当金	25,346	26,770	
⑦売上債引当金	63,920	84,912	
⑧その他	41,274	39,595	
流動負債合計	869,600	996,305	
II 固定負債	296,070	259,806	
負債合計	1,165,670	1,256,112	
(純資産の部)			
I 株主資本			
①資本金	240,835	240,860	
②資本剰余金	230,835	230,860	
③利益剰余金	704,675	367,615	
④自己株式	△ 16,870	△ 16,870	
株主資本合計	1,159,474	822,464	
II 評価・換算差額等			
①その他有価証券評価差額金	△ 16,093	△ 4,099	
②為替換算調整勘定	△ 40,189	△ 54,132	
評価・換算差額等合計	△ 56,282	△ 58,231	
純資産合計	1,103,191	764,232	
負債純資産合計	2,268,862	2,020,344	



# ■決算のポイント

## ■連結財務諸表(要旨)

### ■連結損益計算書

[単位：千円]

区分	前連結会計年度 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)	
	金額	金額	金額	金額
I 売上高	2,073,562	2,123,139		
II 売上原価	1,104,683	1,568,976		
売上総利益	968,879	554,163		
III 販売費及び一般管理費	802,823	789,454		
営業利益	166,056	△ 235,291		
IV 営業外収益	10,560	14,677		
V 営業外費用	20,779	12,166		
経常利益	155,838	△ 232,780		
VI 特別利益	—	3,254		
VII 特別損失	110,237	85,084		
税金等調整前当期純利益	45,600	△ 314,611		
法人税等	111,212	18,269		
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 65,611	△ 332,880		

## ■連結株主資本変動計算書

[単位：千円]

	前連結会計年度 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額
<b>株主資本</b>		
I 資本金		
前期末残高	239,900	240,835
当期変動額	935	25
当期末残高	240,835	240,860
II 資本剰余金		
前期末残高	229,900	230,835
当期変動額	935	25
当期末残高	230,835	230,860
III 利益剰余金		
前期末残高	775,536	704,675
当期変動額	△ 70,861	△ 337,059
当期末残高	704,675	367,615
IV 自己株式		
前期末残高	—	△ 16,870
当期変動額合計	△ 16,870	—
当期末残高	△ 16,870	△ 16,870
V 株主資本合計		
前期末残高	1,245,336	1,159,474
当期変動額	△ 85,862	△ 337,009
当期末残高	1,159,474	822,464
<b>評価・換算差額等</b>		
VI 評価・換算差額等		
前期末残高	△ 32,025	△ 56,282
当期変動額	△ 24,256	△ 1,949
当期末残高	△ 56,282	△ 58,231
VII 純資産合計		
前期末残高	1,213,311	1,103,191
当期変動額	△ 110,119	△ 338,959
当期末残高	1,103,191	764,232



## ■個別財務諸表(要旨)

### ■個別貸借対照表

[ 単位 : 千円 ]

区分	前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)		
I 流動資産		
①現金及び預金	172,913	234,363
②売掛金	351,428	340,230
③商品及び製品	28,796	20,581
④仕掛品	354,866	71,969
⑤前渡金	3,150	—
⑥その他	82,595	2,863
流動資産合計	993,750	670,008
II 固定資産		
有形固定資産		
①建物（純額）	402,385	381,006
②構築物（純額）	10,310	9,240
③車両運搬具（純額）	1,446	989
④工具、器具及び備品（純額）	37,435	35,981
⑤アミューズメント施設機器（純額）	6,796	3,290
⑥土地	182,024	172,746
有形固定資産合計	640,398	603,255
無形固定資産	40,013	32,848
投資その他の資産		
①投資有価証券	74,852	148,551
②その他	105,518	91,015
③貸倒引当金	△ 17,800	△ 17,800
投資その他の資産合計	162,570	221,767
固定資産合計	842,983	857,871
資産合計	1,836,734	1,527,880

区分	前事業年度 (平成21年3月31日現在)	当事業年度 (平成22年3月31日現在)
(負債の部)		
I 流動負債		
①買掛金	55,139	60,592
②短期借入金	480,000	560,000
③1年内返済予定の長期借入金	40,008	40,008
④未払金	70,938	48,009
⑤未払法人税等	—	536
⑥賞与引当金	25,346	26,770
⑦その他	25,412	32,348
流動負債合計	696,845	768,266
II 固定負債	295,490	259,806
負債合計	992,336	1,028,073
(純資産の部)		
I 株主資本		
①資本金	240,835	240,860
②資本剰余金	230,835	230,860
③利益剰余金	405,692	49,057
④自己株式	△ 16,870	△ 16,870
株主資本合計	860,491	503,906
II 評価・換算差額等		
①その他有価証券評価差額金	△ 16,093	△ 4,099
評価・換算差額等合計	△ 16,093	△ 4,099
純資産合計	844,397	499,806
負債純資産合計	1,836,734	1,527,880



# ■決算のポイント.....

## ■個別財務諸表(要旨)

### ■個別損益計算書

[単位：千円]

区分	前事業年度 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)
	金額	金額
I 売上高	1,288,218	1,317,243
II 売上原価	738,367	1,086,413
売上総利益	549,851	230,830
III 販売費及び一般管理費	524,234	508,020
営業利益又は営業損失（△）	25,617	△ 277,189
IV 営業外収益	5,684	17,200
V 営業外費用	19,873	11,741
経常利益又は経常損失（△）	11,427	△ 271,729
VI 特別利益	—	5,363
VII 特別損失	110,031	85,084
税引前当期純利益 又は税引前当期純損失（△）	△ 98,603	△ 351,451
法人税等	54,887	1,004
当期純利益又は当期純損失（△）	△ 153,491	△ 352,455

## ■個別株主資本等変動計算書

[単位：千円]

	前事業年度 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日)	当事業年度 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)
区分	金額	金額
株主資本		
I 資本金		
前期末残高	239,900	240,835
当期変動額	935	25
当期末残高	240,835	240,860
II 資本剰余金合計		
前期末残高	229,900	230,835
当期変動額	935	25
当期末残高	230,835	230,860
III 利益剰余金合計		
前期末残高	564,433	405,692
当期変動額	△ 158,741	△ 356,634
当期末残高	405,692	49,057
IV 自己株式		
前期末残高	—	△ 16,870
当期変動額合計	△ 16,870	—
当期末残高	△ 16,870	△ 16,870
V 株主資本合計		
前期末残高	1,034,233	860,491
当期変動額	△ 173,741	△ 356,584
当期末残高	860,491	503,906
評価・換算差額等		
VI 評価・換算差額等合計		
前期末残高	△ 298	△ 16,093
当期変動額	△ 15,794	11,993
当期末残高	△ 16,093	△ 4,099
純資産合計		
前期末残高	1,033,935	844,397
当期変動額	△ 189,540	△ 344,591
当期末残高	844,397	499,806



# 会社概要

■設立年月日	平成5年7月12日
■本社所在地	〒504-0903 岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番
■電話番号	058-371-7275
■最寄りの連絡場所	同上

■役員構成	代表取締役会長 代表取締役社長 取締役 取締役 常勤監査役 非常勤監査役 非常勤監査役	北角 浩一 新川 宗平 世古 哲久 佐藤 智洋 <sup>※注1</sup> 渡邊 克巳 河田 秀数 貝沼 征司	■連結子会社 NIS America, Inc. (米国カリフォルニア州) 株式会社システムプリズマ (大阪府大阪市) 株式会社STUDIO ToOeuf (岐阜県各務原市)
■事業の内容	コンシューマ事業 モバイル事業 アミューズメント事業 その他の事業	家庭用ゲームソフトの企画・開発・販売 携帯電話コンテンツの開発・配信 業務用ゲーム機器の企画・開発及びアミューズメント施設運営 ゲームソフト関連グッズ販売業務等	■業種別分類 / コード 情報・通信 / 3851 ■銘柄略称 日本一S ■資本金 240,860,000円 ■従業員数 99名(連結)
			(2010年3月31日現在)
			※注1：佐藤智洋氏は、2010年3月31日をもって辞任致しました。

## ■株式の状況

(2010年3月31日現在)

発行可能株式数	68,000 株
発行済株式数	21,192 株
株主数	1,270 名

## 大株主

株主名	合計所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社 ローゼンクイーン商会	7,867	37.6
北角 浩一	5,000	23.9
加藤 修	1,304	6.2
岐阜信用金庫	500	2.4
株式会社十六銀行	450	2.2

※当社は自己株式290株を保有しております。持株比率は、自己株式を除いて算出しております。



# 株主メモ・WEB サイトのご案内

■上場証券取引所	大阪証券取引所
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
■中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
■定時株主総会	毎年事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
■公告掲載方法	電子公告とします。 ( <a href="http://nippon1.co.jp">http://nippon1.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって公告をすることのできない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
■株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
■事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL : 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
■郵便物送付先 (電話照会先)	
■住所変更、配当金受取方法のご指定等について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
■未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●配当金計算書について●

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねてあります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。なお、配当金領収書にて配当金をお受取の株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## <http://nippon1.co.jp>

当社会社概要、IR 情報などを掲載しています。

## <http://nippon1.jp>

当社 WEB サイトでは最新のゲーム情報をはじめ、最新動向、グッズの販売まで、随時更新しています。ぜひご覧ください。

## <http://nippon1.mobi>

携帯アプリゲームから待受け画像・着信メロディーの配信等、携帯で日本一 GAMES、日本一アドベンチャーを楽しめます。